

歴史ある「新庄まつり」



きびやかな山車



神輿渡御行列の「コマ



山車の後ろに付き、祭りを盛り上げる囃子方

2016年12月1日、「新庄まつりの山車行事」は、全国33の「山・鉦・屋台行事」の一つとしてユネスコの無形文化遺産に登録された。「世界の宝」と認められた新庄まつり。今年も8月24～26日の3日間、見る者は魅了する。

2600年を超える祭りは、長い歴史の中で少しずつ変遷を遂げてきた。しかし、変わらないのは人々の祭りにかける情熱だ。

ユネスコの無形文化遺産に 豪華絢爛な山車行列 伝統行事が人々を魅了

古式ゆかしい神輿渡御行列、山車行事、本まつりに豪華絢爛な山車行列とまつり囃子、新庄城址で踊られる優雅な秋野鹿子踊りに田山鹿子踊り。

座談会出席者

- (順不同)
- 今村 翔吾氏 (時代小説作家)
 - 紺野 純一氏 (東北観光推進機構専務理事)
 - 野崎 佳政氏 (近畿日本ツーリスト東北社長)
 - 鈴木 一弘氏 (JR東日本新庄駅長)
 - 井上洋一郎氏 (新庄商工会議所会頭・新庄信用金庫理事長)

司会＝観光経済新聞社東北支局長・平塚真喜雄



井上氏

「特別」なコンテンツに 参加できる要素が大事

野崎さんのKNTは同じ山形県の月山志津で観光振興の取り組みを行っている。地元は旅行会社などラロのノウハウを活用して、集客に貢献を上げている。プロの知見を活用すべきだ。

野崎さん「KNTは同じ山形県の月山志津で観光振興の取り組みを行っている。地元は旅行会社などラロのノウハウを活用して、集客に貢献を上げている。プロの知見を活用すべきだ。デジタルの力を使った情報発信も必要。特に動画配信は効果がある。力を入れるべきだ。そして今日お越しの今村先生には、さまざまな場面で情報発信をお願いしたい。」



紺野氏

今村「今回、直木賞が取れば、会員で新庄の話しようと思っていた。」

野崎「私もこのお話を聞いて、今後はこのような機会があればぜひ発信したい。」

今書いている小説のシリーズは、最低あと7年は続きます。東北の、新庄や梅田よりも実のところ、新庄の方がいい。新庄の販売部数の方が多い。それだけ地元で愛されているということ。私もさらに新庄に貢献できることを考えていきたい。

野崎「一番は、お客さまが何を求めているか。『特別』『私』商品造成をするとして、何をポイントに。」

新庄まつり関係者コメント

新庄山車(やたい)連盟

会長 木村 満
新庄まつりの山車は飢死者の鎮魂と五穀豊饒を願い、意気消沈している領民に活力を与えるため羽州街道を練り歩いたのが起源とされている。

神輿渡御行列実行委員会

会長 矢口 正義
神輿渡御行列は、城内にある天満宮のご神体を市の中の手から下手へ町々を巡行させ、人々の平安を願っての山車行事だ。

新庄囃子連盟

会長 齋藤 哲也
宝暦年間より先人たちが受けて受け継がれてきた新庄まつりは、さまざまな変化を経ながらも、この地域で生きる私たちの歴史そのものだ。



座談会は新庄商工会議所で実施

野崎「寄港日があれば、酒田港や秋田港に来たクルーズ船の外国人乗組員を招待するの面白い。祭りに参加して、SNSなどで情報発信してもらう。ねぶたには飛鳥やダイヤモンドプリンセスのクルーが参加している。寄港のタイミングが合ったときにクルーや乗客を無料招待する。費用をかける価値はあると思う。」

新庄まつり実行委員会 (新庄商工会議所内) ☎0233-22-6855
 新庄観光協会 ☎0233-22-2340
 新庄市商工観光課 ☎0233-22-2111

山形県の原風景と笑顔に出会う旅 最上川舟下り

年中無休
定期船があるからお一人でも安心

最上峡芭蕉ライン観光株式会社
〒999-6401 山形県最上郡戸沢村大字古口 86-1
TEL : 0233-72-2001
FAX : 0233-72-2003
http://www.blf.co.jp/

オラがNO1の船頭がご案内いたします

